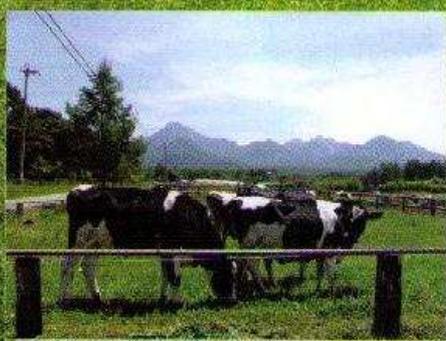


農業が面白い

八ヶ岳中央農業 実践大学校



公益財団法人 農村更生協会

八ヶ岳から世界を望む

土を耕し、こころを耕す。

校長からのメッセージ

標高1,300メートルの信州・八ヶ岳山麓に広がる270ヘクタール余の大農場。ここが、私ども八ヶ岳農業実践大学のキャンパスです。日本で最も高いところにある農業大学校ですが、レベルの高さも伝統も、そしてアルプスの山々を望む景観もダントツに日本一の農業大学校です。

本校は、昭和13年、農村経済の復興にあたる全国的指導者養成を目的に設立されました。現在は、大学卒業生などを対象にした研究科（在学期間1年）、および高校卒業生を対象にした専修科（同2年）の過程で、全国から入学した多彩な学生が学んでいます。

卒業生は、国内のみならず世界中で活躍しています。一流の農業経営者や農村の指導者はもちろんのこと、農業団体や、政官界などで活躍する卒業生は枚挙にいとまがありません。

また、日本有数の景観とも相まって、本校は、年間30万人もの観光客が訪れる、信州を代表する観光スポットにもなっています。

近年、特に注目されているのは、本校が日本最大の農林業教育ファームになっていることです。首都圏などから、年間2万人近い児童生徒が農林業体験学習に訪れ、農林業の勉強と同時に、こころも耕しています。

本校は幅広い分野の社会人を対象にした短期研修にも積極的に取り組んでおります。毎年、夏休みの時期には高校生などを対象にした1週間の研修生も全国から受け入れております。

このように、本校は、幅広い分野の教育・研修を行い、日本農業の発展に大きく貢献しているのです。多くの皆様方のご来校とご入学を心からお待ちしております。



概要

◆土地・敷地

総面積273ha（耕地30ha、草地70ha、放牧地10ha、森林100ha、その他63ha）

◆主要作物

- ・セルリー、レタス、ブロッコリー、野沢菜、ハクサイ、キャベツ、ホーレンソウなどの高原野菜
- ・メロン、トマト、キュウリなどの果菜類
- ・パレイショ、スイートコーン、ソバなどの畑作物ならびに飼料作物、牧草
- ・シクラメン、ペゴニヤ、プリムラなどの鉢花と切花、花だん用苗及びハーブ類など

◆主要家畜

乳牛150頭（うち経産牛90頭）採卵鶏10,000羽および山羊、羊、ポニーなど

沿革

昭和9年12月

農村更生協会発足

昭和13年4月

八ヶ岳修練農場開場
（初代場長 石黒忠篤 元農林大臣）

昭和21年4月

八ヶ岳高等農林講習所と改称

昭和24年4月

八ヶ岳経営伝習中央農場と改称

昭和48年4月

八ヶ岳中央農業実践大学校と改称



日本一の農業大学校

自然の中で自然に学ぶ。

「農業経営実践教育」

■実践教育の特色

- 本校は、広大な学校農場を実践教育の場としながら、毎年目標を立てて農場経営を行っています。
- 具体的には、農場を構成するそれぞれの部門が経営目標の達成を目指して、作物の作付けや家畜の飼養計画を立て、それにそって生産から販売まで一貫した管理運営を行っています。
- 経営の実践には学生も教員と一体となって参加することによって、生きた生産技術と経営管理能力を身につけるといのが、本校の経営実践教育の特色です。

■教育方針

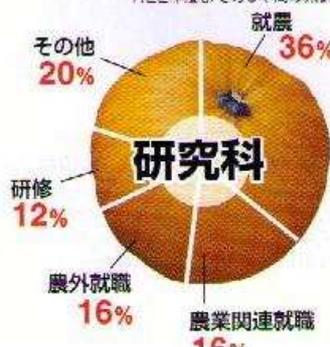
- 「農業経営実践」を通じて、農業観を養うとともに、農業の技術と経営に関する知識と実践力を身につける。
- 「プロジェクト研究」を通じて、問題に取り組む自発性と問題解決能力を身につける。
- 「環境保全型農業」への取り組みを通じて、食の安全・安心と環境問題への関心を高め、その解決に向けた力を身につける。
- 「共同生活」を通じて、社会性を養い、良好な人間関係を構築できる力を身につける。

■課程と専攻部門

学 科	定員	入学資格	専攻部門	教育目的
研究科 (1年制)	10名	大学・短大卒	作物園芸・葉菜・花卉・酪農・養鶏	農業指導者養成 農業自営者養成
研究科 短期コース (7ヶ月間)	若干名	大学・短大卒	作物園芸・葉菜・花卉・酪農・養鶏	
専修科 (2年制)	30名	高校卒	作物園芸・葉菜・花卉・酪農・養鶏	農業自営者養成

■卒業生の進路状況

H22年度までの5年間の累計



入学者の出身地

(平成21年度～平成23年度集計)

	研究科	専修科	合計
長野県	8	23	31
東京都	0	12	12
神奈川県	3	6	9
京都府	1	5	6
大阪府	1	4	5
その他	5	30	35
合計	18	80	98

カリキュラム

1 歩ずつ夢に近づく八ヶ岳中央農業実践大学のスケジュール

研究科 CURRICULUM

大学や農業大学校などで得た知識と本校での生産実習や経営実践を通じて、専門的農業技術と経営管理能力を兼ね備えた、新しい農業の経営者・指導者を養成します。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
4月入学コース	専攻実習							先進農家研修					総括学習							
11月入学コース								専攻実習					先進農家研修							総括学習
7ヶ月短期コース	専攻実習					先進農家研修														

教育内容

1. 大規模圃場、畜産での徹底した専攻実習と講義・ゼミ及びプロジェクト研究によって、専門的な農業技術と農業経営能力を養います。
2. 日本の先進的な農家や農業法人で寝食を共にしながら、実践的技術や経営手法、農業観を学びます。
3. 各種試験場、先進農業地域、市場の視察や優秀農家、各界専門家による特別講義を受けます。

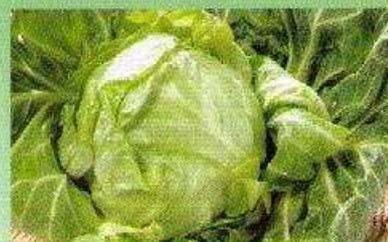


専攻部門



作物園芸

トマト・キュウリ・ナス・ピーマン・メロン・スイカなどの果菜類とパレिशョ、スイートコーンなどを中心に栽培を行っています。プロジェクト実習では、専攻生が各野菜を担当し、野菜栽培の基本技術と理論を体系的に学び、併せて試験・研究を実施しています。



葉菜

地元の特産であるセルリーをはじめ、レタスやキャベツなどの高原野菜が中心です。春・秋は、畑作りが主となり、本格的な栽培は霜の少ない6～9月に集中します。また、冬期にはボカシ肥料や堆肥を作成し、有機質を使用した土づくりに努めています。

カリキュラム

1 歩ずつ夢に近づく八ヶ岳中央農業実践大学のスケジュール

専修科 CURRICULUM



半年間のオールラウンド実習、1年間の経営に参加しながらの専攻実習、農家派遣研修などを通じて、農業技術と経営能力の向上に努め、新しい農業経営者としての資質を養成します。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	オールラウンド実習							専攻実習				
2年次	専攻実習							先進農家研修			総括学習	

教育内容

〈オールラウンド実習〉

半年間、全部門での実践学習を行います。幅広い農業分野が体験でき10月からの専攻実習へとつなげます。

〈専攻学習〉

専攻部門での学習です。教員・学生一体となって1年間、農業の楽しさ、厳しさを肌で感じながら生産・流通・経営の知識、専門技術の修得を目指します。

〈先進農家研修〉

校内学習では得られない先進農家での農

業体験学習です。1ヶ月間、生きた農業経営の学習や農家の農業観、農村社会のしくみなどを学びます。

〈総括学習〉

選択科目による専門分野の充実・補完をはかるとともに、卒業論文をまとめます。



花卉

春から秋にかけて花壇用の苗物や宿根草類、そして、シクラメン、リーガースベゴニア、プリムラ類、ゼラニウム等の鉢花を栽培しています。冬期にはガラス温室やベレットハウスで育苗を行っています。



酪農

ホルスタイン種を主に経産牛90頭、育成牛60頭の計150頭を飼育管理しています。



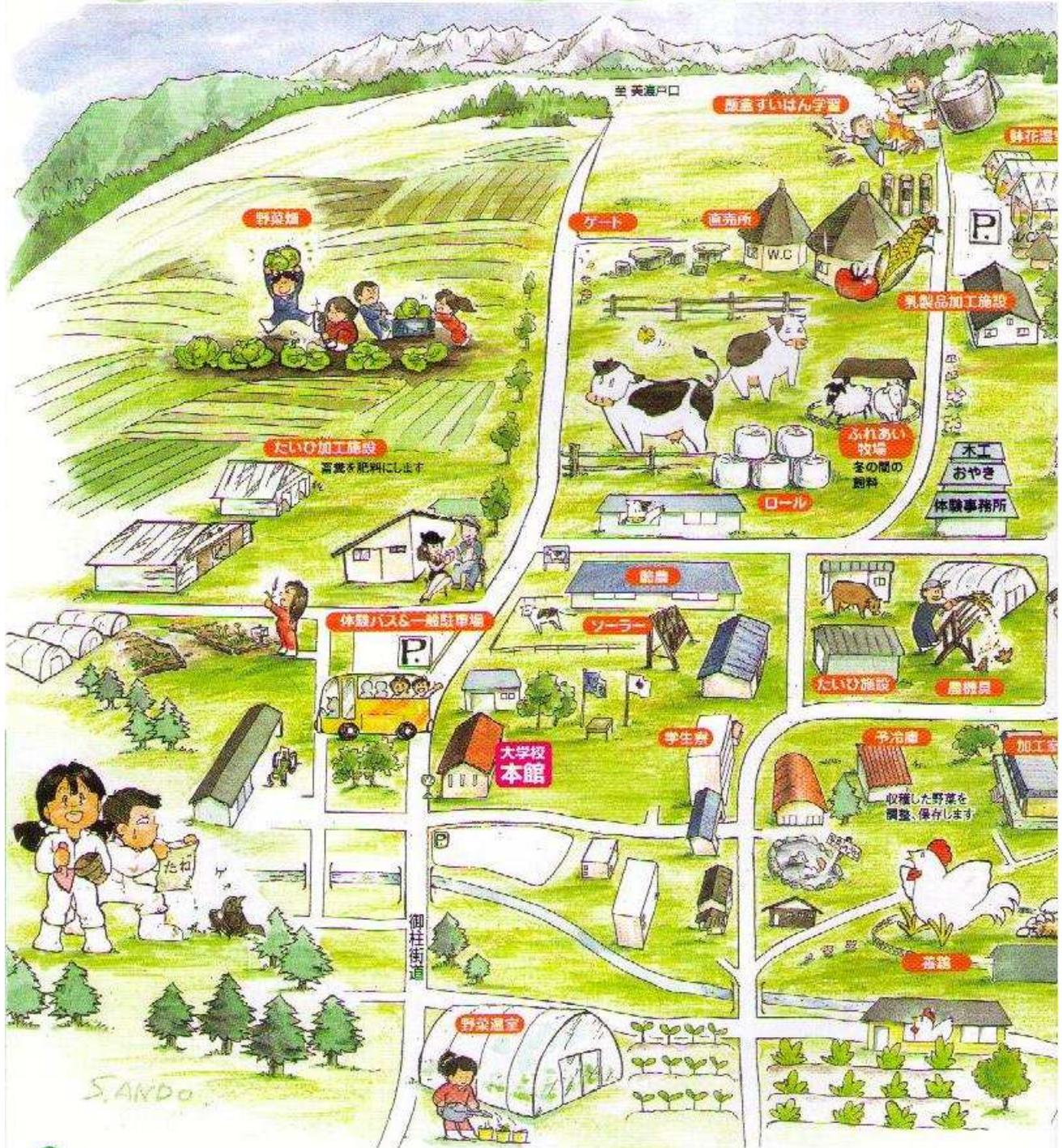
養鶏

高床式開放鶏舎を中心に、豊かな自然の中での放し飼い有精卵の生産も組み入れ、採卵鶏一万羽を飼育しています。

八ヶ岳の大自然に抱かれて。

キャンパスマップ

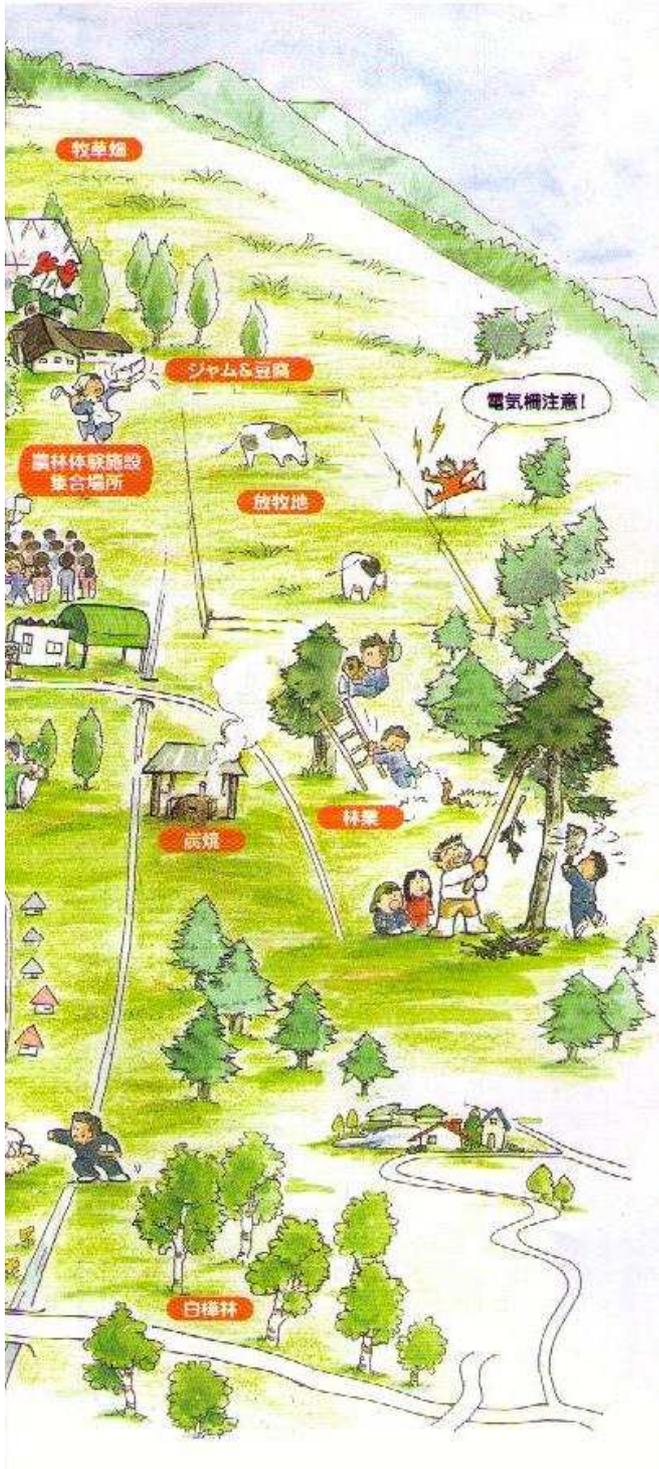
CAMPUS MAP



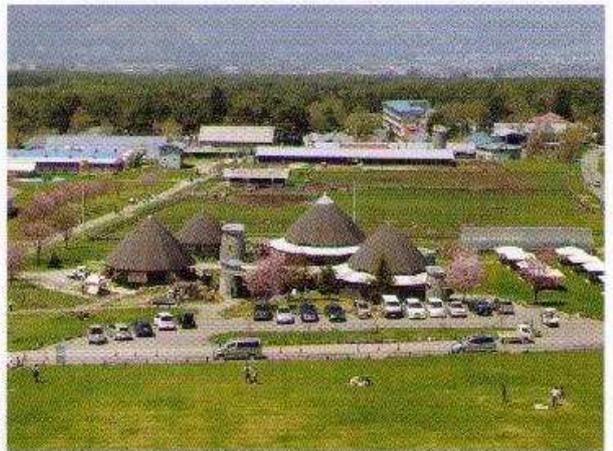
6

至 茅野

本格的な農場の醍醐味をダイナミックに満喫できる広大な敷地と施設が完備されています。自分たちの手による生産物が実際に販売される喜びもまた格別です。



▲広大な農場



▲熱気球から見た直売所です。とれたて新鮮！農場オリジナル商品が大人気です。（直売所では注文販売も受け付けています）。



▼実習風景

▲直売所



全国で活躍する 卒業生

VOICE



平成12年度
研究科
卒業

高橋（富樫）紀子さん
(山形県出身)



平本校でブルーベリー栽培を学んだ後、山形県庄内町の実家に戻り、ラズベリーの栽培に着手。現在は、高校時代にテニスで知り合った夫と二人で、ラズベリーを中心にした観光農園「はらぺこファーム」を営んでいます。

平成4年度
研究科
卒業

小林 和弘さん
(福島県出身) 左側

和弘さんは、卒業後米国で2年間研修し、後継者として福島県で就農しました。稲作、麦作、そばを中心に110haの受託栽培を8戸の農家で行っています。親子2代とも八ヶ岳中央農業実践大学の卒業生で、地域のリーダーとして頑張っています。



平成15年度
研究科
卒業

柚木 正雄さん
(神奈川県出身)

山梨県の農業生産法人で、圃管理責任者として活動中。将来、新規就農をめざして経験や技術を積んでいます。



昭和41年度
本科
卒業

小林 一良さん
(福島県出身) 右側

平成14年度
専修科
卒業

下田 将文さん
(群馬県出身)

下田（鈴木）亜紀さん
(静岡県出身)

平成22年6月、大学の農家派遣研修でお世話になった、信州・松川町の「りんごの丘農園」で結婚式をあげました。現在は、将文さんの実家（前橋市）を継いで、ナス、キャベツ、小松菜などを作っています。



平成9年度
専修科
卒業

安田 弥生さん
東京都 出身 (写真中央)

卒業後スイスで1年間研修。帰国後、神奈川県津久井郡で約80aの畑を借地して、少量多品目の野菜を有機、無農薬で、栽培しています。消費者へ直接販売すると共に、農業に関心を持っている方に畑を開放して、一緒に作業に励んでいます。





頑張っています 在校生

VOICE

研究科

川端 志津さん
(長野県松本市出身)
津田塾大学文学部卒業

東京で大学生活を過ごしていましたが、ゆったりとした時間の流れる農村の生活に魅力を感じるようになりました。卒業後は、ふるさとで、ぶどうを栽培しながら、ワイナリーを運営していければと考えています。



研究科

高橋 求さん
(仙台市出身)
東海大学文学部卒業

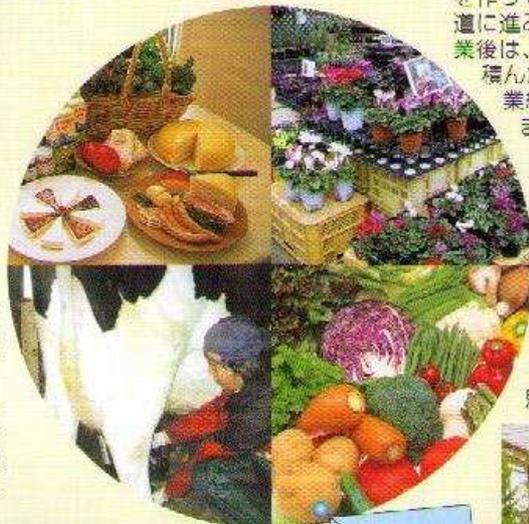


会社員をやっていましたが、自分で物を作っていることを実感できる農業の道に進みたいと思い入学しました。卒業後は、農業法人などでさらに研修を積んだ後、野菜などを中心とした農業経営に取り組みたいと考えています。

研究科

相馬 信行さん
(福井県越前市出身)
京都大学工学部卒業

メーカーのエンジニアをやっていましたが、会社組織に頼らず、自然のなかでできる仕事に進みたいと思うようになり、農業を志しました。卒業後は野菜などを中心とした農業経営に、家族で取り組んでいきたいと考えています。



中学生の時、農林業体験学習で本校に来たことがきっかけで、いのちを育む農業に興味をもつようになりました。実家は非農家ですが、野菜や動物のことなどを幅広く学んで、将来は自分で農業を営みたいと思っています。



専修科

寺島 愛さん
(長野県茅野市出身)
普通高校卒業



専修科

馬場 寛章さん
(宮城県小林市出身)
普通高校農業科卒業

実家は、肉牛とぶどうを営む専業農家です。本校では、酪農や野菜などを幅広く学び、実家の農業経営拡大に生かしていきたいと考えています。



農林業体験学習

農林業はいのちを育み、人間生活の根源となる食料の生産、住環境を担う極めて重要な産業です。いのちの尊さ、農林業の魅力を八ヶ岳山麓の大自然の中で体験してください。



ご希望に合わせて選べる13ショップ



おやき作り



ジャム作り



昔の農機具



炭焼き



森林



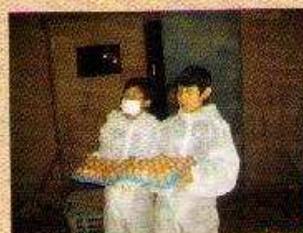
木工



豆腐作り



飯盒炊飯(はんごうしゆはん)



養鶏



酪農



野菜



ハーブ

各種研修

TRAINING

資格および支援制度

LICENSE, ETC

短期研修

- 青年海外協力隊派遣前技術研修
〈7ヶ月間。国際協力機構の委託による、農業分野で派遣される協力隊員の技術研修〉
- 高校生・大学生を対象とした夏季短期講習
〈1週間。夏休み期間中、合宿による実習を中心とした体験入学〉
* 毎年4回募集しています。
- 農林水産省職員研修
〈農林水産省の若手職員を対象とした実習中心の研修〉
- 小・中・高校の教員の実践研修
〈教員を対象〉
* 毎年募集しています。受講希望者はお問い合わせ下さい。
- 日本政策金融公庫新入職員研修



取得できる資格

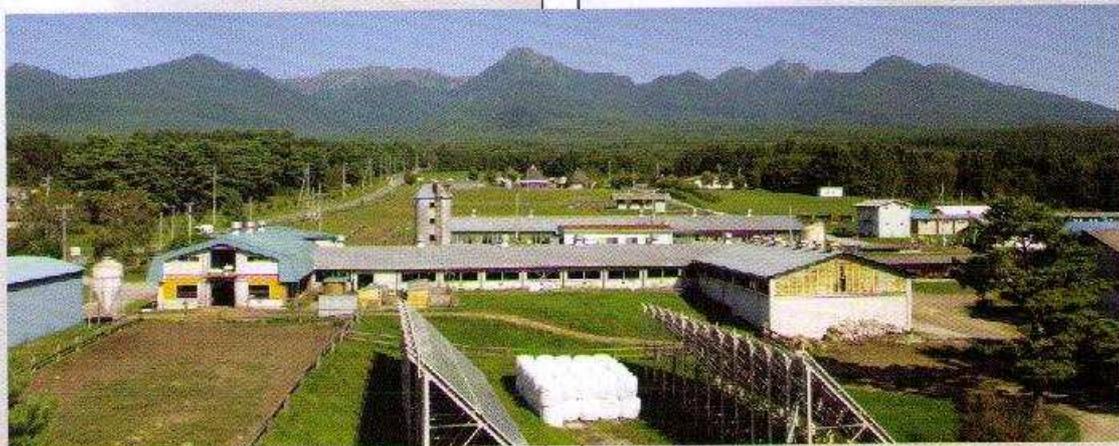
- ◆ 専修科の卒業生は、「専門士」の称号が与えられ、四年生大学への編入資格が得られます。
- ◆ 在学中に、希望者は農業用大型特殊自動車運転免許、車両系建設機械運転、フォークリフト運転、劇毒物取扱者、危険物取扱者、家畜人工授精士（酪農コース専攻者のみ）免許等が取得できます。

卒業後の進路

- ◆ 最近では農業法人などに就職する学生が増えています。就職率はほぼ100%です。
- ◆ 卒業後、引き続き国内や海外の先進農家で研修を行う道も開かれています。
- ◆ 青年海外協力隊に参加する卒業生も増えています。

奨学金・資金貸付

- ◆ 専修科生は日本学生支援機構の奨学金を受けることができます（人数制限あり）。
- ◆ 就農希望者は、無利子の就農研修資金を借りられます。





ACCESS

交通のご案内

●自動車利用の方

中央自動車道 諏訪南IC下車 車で約15分
 中央自動車道 小淵沢IC下車 車で約20分

●列車・バス利用の方

JR中央線茅野駅下車 美濃戸口行き 八ヶ岳中央農業実践大学校下車
 バスで約30分

●列車・タクシー利用の方

JR中央本線 茅野駅下車 タクシーで約15分

八ヶ岳中央農業実践大学校

〒391-0112 長野県諏訪郡原村17217-118
 TEL.0266-74-2111(代) FAX.0266-74-2382
 ホームページ <http://www.yatsunou.jp/>
 E-mail yatsunou@po12.lcv.ne.jp

公益財団法人 農村更生協会

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-1-16 (瑞穂会館1F)
 TEL.03-6202-2322 FAX.03-3272-3368

ようこそ「創造」の発信地、八ヶ岳中央農業実践大学校へー。



信州・諏訪地域、標高1,300mの雄大な八ヶ岳山麓。
その豊かな自然、澄んだ空気と鮮やかな緑に抱かれて、八ヶ岳中央農業実践大学校はあります。
東に八ヶ岳連峰を仰ぎ、西には遠く槍ヶ岳などの北アルプス、そして木曾御岳、
南には甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山など南アルプスの名だたる山々を眺望。
自然の雄大さ、楽しさ、癒し、息吹に直にふれ、
白樺やからまつ林に囲まれた広大な緑の大地に静かに向き合える、絶好の学習環境が広がります。
自然の大きさ、いのちの温もりから、わたしたちが今学ぶべきことに、限りはありません。

農林水産省助成／財団法人 農村更生協会

八ヶ岳中央農業実践大学校

〒391-0112 長野県諏訪郡原村1721-7-118 TEL.0266-74-2111 FAX.0266-74-2382
<http://www.icv.ne.jp/> yatsunou/ E-mail:yatsunou@pd12.icv.nc.jp



次代の農業を担う農業経営者及び
実践的農業指導者の養成をめざす

青年の大志を後押しする

農業総合 実践教育



課程と専攻部門

学科	定員 入学資格	専攻部門	教育目的
研究科 (1年制)	10名 入学:短大卒	農産 野菜園芸	農業指導者並びに 農業経営者
専修科 (2年制)	30名 入学:卒	花卉・果樹 農産物加工	農業経営者並びに 農業指導者(実務者)

カリキュラム

●研究科

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
長期コース				専攻実習						先進農家研修	体験学習	
短期コース				専攻実習								

●専修科

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次			オールラウンド実習							専攻実習		
2年次					専攻実習					先進農家研修	体験学習	

卒業後の進路

- 農業を継ぐ学生が伝統的に多いが、アメリカやヨーロッパに渡り、さらに海外研修に励む学生や青年海外協力隊に参加する学生が増加しています。
- 農業法人や先進農家での就職を希望する学生に対しては、就職に向けての支援・協力をしています。

学生募集

全寮制による共同生活を通じて、全国から入学した学友との交流を深め、新しい時代の青年農業者や、農村の指導者になろうとする前途有為の学生(男女)を募集します。

1 募集人員および修業年限

- (1) 研究科生 10名 1年制 (別に研究科短期コースがあります。)
- (2) 専修科生 30名 2年制

2 受験資格

- (1) 研究科生
大学、短大の卒業見込者(同卒業者)、各道府県立農業大学校の卒業見込者(同卒業者)、およびこれと同程度の学力を有する者。
農学(非農学系)、社会学、農業経験の有無は問いません。
 - (2) 専修科生
高等学校卒業見込者(同卒業者)、およびこれと同程度の学力を有する者。
- 募集要項、入学願書等の請求は下記までお申込み下さい。

短期研修

- 高校生などを対象とした夏休み期間の1週間以内の研修(体験入学)
- 県立農業大学校等の新任者研修 ●青年海外協力隊研修
- 海外派遣農業研修生講習 ●社会人の実践農園 等

農林業体験学習

子どもたちが農林業に対する理解と関心を深めるとともに、自然や生き物との触れ合いを通じて豊かな人間形成が図れるよう、小中学生を中心とした農林業体験学習の機会を提供しています。

就農準備校

就農準備校は、農業に魅力を感じている方や将来、農業をしてみたい方に対して、農業体験などの研修を行い、農業に対する理解の増進、円滑な就職準備が進められることを目的として、農林水産省の支援によって設立されたものです。本校では「八ヶ岳教室」を開校しています。

八ヶ岳中央農業実践大学校

〒391-0112 長野県諏訪郡原村17217-118

TEL.0266-74-2111 FAX.0266-74-2382

http://www.lcv.ne.jp/~yatsunou/

E-mail:yatsunou@po12.lcv.ne.jp

財団法人 農村更生協会

T101-0048 東京都千代田区神田司町2-1 神田中央ビル3F

TEL.03-3291-5810 FAX.03-3291-5798

